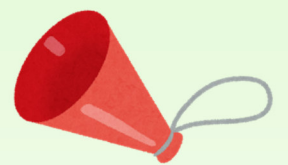


令和元年度福角会 インターンシップ報告書 INTERNSHIP REPORT



インターンシップ研修の目的

「福祉」や「保育」、「社会福祉法人福角会」に興味を持って頂いている学生に、インターンシップを通して、様々なことを体験して頂き、子ども達や障害者への理解を深めて頂くと共に、保育所や福祉施設の現状を知ってもらい、人と関わることの楽しさや、やりがいを感じて頂く機会となります。また、働くことの意義や生きることの尊さを知ってもらい福祉職に関心を持ってもらうことを目的としております。

インターンシップ研修の日程と内容

8月20日
生活介護事業所
ウイズ

職員に付き添って支援の現場を体験する。日々、意欲的に活動されている利用者の様子を見て頂くと共に、そこに携わる支援員の基本姿勢や支援内容を学んで頂く。食事や送迎などの介助を行って頂いてご家族との連携の大切さも感じて頂き、事業所が果たすべき役割を知ってもらう。

8月21日
多機能型事業所
ラ・ルーチェ

製造部門のパン、ピザなどの調理を行っていただくと共に利用者へ接して頂き理解を深めて頂きたいと思っております。また研修の中で、ピザの製品を考案していただき、試作を経て最終日の報告会にて事業所管理者及び実習担当者に召し上がって頂きます。



8月22日・23日
認定こども園
福角保育園

保育体験を中心に実習を行う。体験を通して、保育士がどのような視点で園児を見ているか、こども達が生き生きと活動するために、どのような意図で行動しているか等感じ取っていただきながら、園児と触れ合うことを目的とする。

8月26日・27日
障害者支援施設
松山福祉園

利用者の方と一緒に日中活動（作業）を体験していただきます。利用者の方と支援員と一緒に働く様子ややりがいを持って生き生きと働く姿を体感していただき、支援員がどのように支援を行い、作業意欲を高め、障害があっても働くことの意味を学んでいただきます。また、入所施設としての役割や支援者としての役割を学んでいただきます。

8月28日・29日
障害者支援施設
いつきの里

施設を利用している方々を知っていただく。職員と一緒に、実際の利用者支援を体験していただく。職員の様々な業務や役割を知って頂く。



8月30日・9月2日
児童発達支援センター
くるみ園

発達支援の場面に実際に参加して頂きます。一日の日課の中で、途中絵本の読み聞かせや手遊びも体験して頂こうと考えています。支援者がどのような準備や配慮を用意して子ども達へ楽しく目的が分かって活動できるよう導いているか職員を見て考え学ぶ機会として頂きます。

9月2日
研修報告会
ラ・ルーチェ

理事長挨拶
インターンシップ研修生発表
各事業所管理者からの総評
インターンシップ研修総括



インターンシップ研修生の志望動機と目的

福祉の分野に興味を持っており、児童や障害をもつ方々への理解を深め、自分の視野を広げたいと思い志望いたしました。また、実際に現場で働いている職員の方々から児童や障害を持つ方々との接し方、相談援助の仕方等を学びたいと思っています。そしてより多くの人を幸せにできる福祉の在り方とは何なのか、深く考えていきたいと思っています。実際に行動、体験することでしか感じる事のできない一つの気づきを大切に、責任を持って研修に励んでいきたいです。(松山東雲女子大学2年生)



10日間のインターンシップ研修で6つの異なる分野での福祉施設を経験できることに大きな魅力を感じました。将来、福祉職に就職したいと考えてはいるものの、どの分野で働くか明確ではないので今回の研修を通じ、自分に合った分野を見つけたいと思います。また、実際に経験する事で、教科書だけでは分からない現場での知識や実践力を見につけ、自分自身の能力を向上させていきたいです。(松山東雲女子大学2年生)



インターンシップ研修終了後の感想

至らない点ばかりでしたが職員の皆様が温かく丁寧に迎えて下さり、多くの事を学ぶことができました。言葉で気持ちを伝えることのできない利用者の方々とのコミュニケーションは初めてで、難しさを感じましたが職員の皆様からたくさんのアドバイスを頂いたことで少しずつ、心の距離を縮めることができたと思います。利用者様一人一人の気持ちを考えながら信頼関係を築き、共に歩んでいくことが大切なのだ学ぶことが出来ました。今後の大学生活では日々勉強して知識を深めると共に、様々な経験をして失敗も成功も次につながられるように挑戦しながら人として成長したいです。(松山東雲女子大学2年生)

10日間の研修の中で様々な事を学ばせていただき、とても充実した毎日を送ることが出来ました。また、福祉や社会人としての見識を深めることができ、自分自身の成長に繋がることが出来たように感じました。何もかも手助けするのではなく、利用者や園児の自主性を大切にしていることが印象的でした。作業中に利用者の方に声掛けする際にも負担にならないようにするなど現場を経験しないと分からなかったことが沢山ありました。実践力を身につけることを目的としておりましたが、まだまだだと感じたので今後はボランティア活動にも積極的に参加したいと思います。お忙しい中、優しく丁寧に指導下さった貴法人の皆様にご心より感謝申し上げます。(松山東雲女子大学2年生)

インターンシップ研修を終えて

二人とも 2 年生ということもあり、実習自体が初めての経験で最初はどのようにいいか分からず戸惑うこともあったと思います。初日は緊張している様子が見られたのですが、徐々に慣れてきて声掛けが大きくなったり、自ら主体的に活動に参加したりと自信が出てきた様子が表情からも見て取れました。福祉とは利用者を支える場であり、利用者にとって一緒にいたいと思われる存在であるべきだと思います。また他人の喜びを自分の喜びとして感じられるようになったらこの仕事のやりがい理解できると思います。それぞれ特性のある事業所を経験したことで社会人として必要なコミュニケーションスキルを見に付けるには良い機会になったのではないかと思います。今回のインターンシップ研修を通して学んだことを、これからのお二人の将来に役立てて頂きたいと思います。お疲れさまでした。

インターンシップ研修風景



2019年 インターンシップ研修報告書

研修先	社会福祉法人 福角会
研修期間	2019年8月20日～9月2日（実働10日間）
研修内容	利用者さん受け入れ、バイタルチェック、各班で支援体験、送迎体験、リフト車の操作体験、パンの製造体験、保育体験、午睡の準備・補助、外遊び、お迎えまでの保育、日中活動への参加、体育支援及び生活支援への参加、食事支援の状況、各寮での生活支援、各作業班での活動への参加、支援員の業務や役割の説明、クラス活動・グループ活動への参加、外来グループの見学、最終報告会など
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	<p>今回のインターンシップ研修を通じ、「働く」という事は、自分の仕事に「やりがい」を持って働くことであると思う。10日間の研修で障害者施設、保育所、多機能型事業所など様々な施設で体験をさせて頂き、多くの職員の方々に関わらせてもらった。その中で、共通点としてあったのが「やりがい」を持って仕事に臨む姿である。その為、どの職員の方々も生き活きと利用者さんに関わり、利用者さんも日々の生活を楽しんで過ごされている姿が見られた。</p> <p>よって、「やりがい」を持って仕事に臨む事で、仕事に対する「自信」や「責任感」も身につくため、福祉に限らず、どの職種においても「働くこと」において大切なのは「やりがい」を持つことだと学んだ。</p>
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	<p>10日間という研修期間の中で、「コミュニケーション能力」、「信頼関係構築」の重要性、何が起こっても焦らず冷静に「臨機応変に対応する力」、福祉では「物事を客観的に捉えていく」など様々なことを学ばせて頂いた。中でも、私は「コミュニケーション能力」と「臨機応変に対応する力」が特に欠けている。その為、今後の取り組みとしては、ボランティア活動など学外の活動にも積極的に参加し、これらの力が身につくようにしていきたい。</p> <p>また、利用者さんとの関わり方がまだまだ不十分であると共に、研修中、様々な活動を通していく内に、自分の知識不足も痛感した。その為、今後はより一層勉学に打ち込み、福祉に関する見識も広げていきたいと思う。</p>
インターンシップに参加しての感想など	<p>研修が始まる前は正直、不安な気持ちでいっぱいだった。しかし、職員の方々や利用者さん、子供達と関わっていく中で、不安はすぐに解消され、自信を持って研修に臨むことができ、1日1日がどれも勉強となる事ばかりだった。私は、元々「福祉職」に興味はあったものの、はっきりとした将来像までは見えていなかった。しかし、今回の研修を通じ「なりたい自分の姿」を明らかにする事ができた。また、利用者さんや子供達に自ら積極的に関わりに行く事が出来た為、研修前と比較すると「積極性」が身についたようにも感じる。その為、自分自身の成長のみならず、「なりたい自分の姿」も見つける事ができたインターンシップ研修となった。また、社会人としての礼儀もご指導下さり、改めてインターンシップ研修に参加出来て良かったと思う。今後は、自分の改善すべき点を学生生活の間で改善に努め、「なりたい自分」に近づける様、努力していきたい。</p>

2019年 インターンシップ研修報告書

研修先	社会福祉法人福角会
研修期間	2019年8月20日～9月2日（実働10日間）
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所ウィズ…支援体験、送迎体験 ・多機能型事業所ラ・ルーチェ…パンの製造体験、ピザの製品考案・試作 ・認定こども園福角保育園…保育体験、絵本の読み聞かせ、午睡の補助 ・障害者支援施設松山福祉園…日中作業への参加、体育支援への参加 ・障害者支援施設いつきの里…各寮の案内、各活動班の案内、軽作業班への参加、療育班への参加、生活支援 ・児童発達支援センターくるみ園…クラス活動へ参加、外来グループ見学 ・ミーティング・説明・一日の振り返り・報告会
「働くこと」・「社会人になること」について学んだこと	<p>福祉の現場での「働くこと」とは、利用者さんが生き生きとした毎日を送ることができるように、自分のスキルを活かしながら共に歩いていくことだと考えました。思うようにいかなくて失敗したり葛藤したりする場面も多々あるけれど、それでも幸せを感じる瞬間はいくつもあり、相手の喜びが自分の喜びになることはとても誇れることなのだと学びました。</p> <p>また、「社会人になるということ」は、自分の行動に責任を持ち、日々感謝の気持ちを抱きながら、自分にも相手にも真っ直ぐ向き合っていくことだと感じました。今、相手はどんなことを必要としているのか、それに対して自分には何ができるのかを考え、実際に行動して想いを実現していくことが大切なのだと学びました。また、社会人として、コミュニケーション力を身に付けることは必要不可欠だと学びました。きちんと情報を共有し合うことでより良い支援に繋がったり、職場を明るく元気が出てくるような雰囲気にしたたりするためにも、コミュニケーションを通じて多くの人と信頼関係を築くことが必要だと感じました。</p>
「今後の学生生活」・「未来の自分探し」に生かすこと	<p>今後の学生生活では、日々の勉強を積み重ねて知識を深めていくと共に、コミュニケーション力や相手の気持ちを思いやれる感性を高めていきたいと思います。</p> <p>研修中、自分にはまだまだ専門的なスキルが足りていないことを痛感しました。今後はより専門的な学びを深め、現場で実際に役立てることが出来るようなスキルを獲得していきたいと思います。また、研修中は相手との信頼関係を構築していくことの大切さを実感しました。そのため、今後はボランティア等にも積極的に参加し、様々なことを経験していく中でたくさんの人とコミュニケーションをとり、相手が抱いている気持ちに気づくことが出来るような視点を身に付けたいです。失敗を恐れずに色々なことに挑戦して、人として成長していきたいと思います。</p> <p>将来はもっと福祉の道を探求していきたい、という想いが強くなりました。残りの学生生活で福祉についてより深く学び、進む方向を真剣に考えたいと思います。</p>

インターンシップに参加しての感想など	<p>最初は不安でいっぱいでしたが、職員の方も利用者さんも温かく迎えて下さり、本当にたくさんの貴重な経験をする事が出来ました。インターンシップ研修に参加して良かったと、心から思います。</p> <p>福祉の現場は自分が今まで想像していたイメージと大きく異なっている点ばかりで、固定観念が崩れ、視野が広がりました。また、今の自分には何が足りていないのかが明確になったので、今後はそれらを補うことが出来るように努力を積み重ねていきたいと思いました。</p> <p>職員の方々にも利用者の方々にも、心からの感謝の想いでいっぱいです。この感謝の想いと、研修で得た数々の貴重な学びを決して忘れないように、残りの学生生活の時間を丁寧に大切に過ごしていきたいと思います。</p>
--------------------	--